

個別最適な学びと協働的な学びの 一体的な充実を図った体育学習

大分県大分市立明治小学校

全校児童数	1193名(男子650名 女子543名)		
全クラス数	46	教職員数	76名
体育専科教員訪問学校数			1校
訪問校	大分市立明野東小学校		
体育専科教員名		石川 信太郎	

Plan：取組時の課題と計画

1 取組時の課題

◆体力調査結果等から

- ・全国平均以上の項目は51/96(53.12%)であった。
- ・「20mシャトルラン」「50m走」「反復横跳び」が課題である。

◆生活習慣調査等から

- ・「体育の時間に運動することが楽しい」と答える児童の割合は89%であったが、児童数に対して施設が狭く、クラス数から合同体育をせざるを得ないため、運動量の確保が課題である。

2 取組の計画

- ①小中一貫教育の取組「大東ストレッチ」を朝の会で実施する。
- ②体育月目標を設定し、保護者に向けた体育通信で家庭と連携した取組を実践する。
- ③体育専科教員の指導法(場の設定や用具・ルールの工夫)を全職員で共有する。月1回のプロジェクト会議において、体力向上部員を中心に体育実技や授業に関する情報共有をする。
- ④休み時間に「チャレンジタイム」を設定し、体育委員会が企画・運営する運動に取り組む。

Do：実践内容

1 運動の日常化

小中一貫教育の取組「大東ストレッチ」を朝の会で毎朝実施する。

- ①一校一実践の取組を「大東ストレッチに毎朝取り組むこと」とし、100%の実施を目指した。
- ②体育授業や体育発表会(運動会)での準備体操を大東ストレッチに設定し、全校で取り組んだ。

2 家庭との連携

体育月目標を設定し、保護者に向けた体育通信で家庭と連携した取組を実践する。

- ①毎月「体力名人」に取り組んだ。(例：あくりよく名人になろう)
- ②毎月体育通信を発行し、体力名人の取組に関わる内容のトレーニングを紹介した。

3 授業改善

体育専科教員の指導法(場の設定や用具・ルールの工夫)を全職員で共有する。月1回のプロジェクト会議において、体育部員を中心に体育実技や授業に関する情報共有をする。

- ①合同体育でもしっかりと運動量を確保できる工夫を共有した。
- ②1人1台タブレット端末を活用した。

4 運動の啓発

休み時間に「チャレンジタイム」を設定し、体育委員会が企画・運営する運動に取り組む。

- ①1学期は「大谷グローブでピッチングチャレンジ」を実施した。
- ②2学期は「玉入れ」を実施した。

●工夫したこと(&苦勞した点)

①運動の日常化

- ・実施するストレッチの項目を絞ったり、朝の歌に合わせて行ったりと、学級ごとに工夫して実施していた。

②家庭との連携

- ・学校家庭連絡システム「すぐー」のアンケート機能を活用し、体育通信で紹介した家庭でのトレーニングの実施状況を把握し、次号の体育通信でフィードバックした。

③授業改善

- ・「令和の日本型学校教育」の下、過大規模校における個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図った体育学習はどうあるべきか、というテーマで取り組んだ。5・6年生は全学級でタブレット端末のワークシートを活用した。明治小では、多くの児童が一斉に運動をするため、1人1人への直接的指導が難しい状況であったが、児童は各自のタブレット端末で自分の課題やポイント等を確認しながら運動する姿が見られた。
- ・ロイノートでワークシートを提出させることで、評価に役立った。膨大な体育ファイルを集めることなく、業務のスリム化にもつながった。
- ・日本製鉄グラウンドでは2時間の枠での授業を組み、大人数でも運動量を確保できるよう、場づくりの工夫をしながら授業を行っている。

④運動の啓発

- ・「チャレンジタイム」で大谷グローブを活用した取組を行った。
- ・過去2年間の「投げる取組」の成果が出ているため、効果を持続するために玉入れを行った。

Check：取組の成果

- ①全国平均以上の項目は53/96(55.21%)に上昇した。
- ②保護者アンケートで体力向上の取組への前向きな回答が多く見られた。

Action：今後の課題

- ①プレハブ校舎建築に伴い、休み時間の運動場使用に制限があるため、外遊びが日常的にできない。今後さらに運動場使用制限が広がる予定であり、「運動の日常化」に大きな課題がある。
- ②体育専科が不在の際に日本製鉄グラウンドでの授業をどのように準備・実施するのか検討する必要がある。
- ③今後の体育発表会実施場所・方法を早急に検討する必要がある。

◎体力向上の取組がもたらす波及効果

- ・苦手なことでも挑戦してみようという意欲の高まり
- ・集団の中でルールを守って活動することの楽しさや喜びを味わう
- ・学校と家庭が一体となって取り組める
- ・教職員の授業力向上

小中一貫&一校一実践

運動の日常化

大谷グローブでピッチングチャレンジ

運動の啓発

玉入れ



- ①朝の会
- ②体育の授業
- ③体育発表会



体育通信で体力名人の取組紹介

家庭との連携

「すぐーる」アンケート結果をフィードバック

明治体育新聞

2024年度
5月27日 No.2
明治小学校体育専科
山口 徳太郎

水泳が始まります！

いよいよ水泳の授業が始まります。多くの子どもたちが水と向き合い、たくさん泳げるようになってほしいと思います。低学年は「何から泳ぐべきか」に悩むように水に慣れること、中学年は「泳ぎ方を身につけること」、高学年は「泳ぎ方やフォームで泳げるようになること」を指導していきます。水泳は自分の命を守る術を身につけることも大切な授業です。なるべく見学にならないよう体調管理等、ご協力をお願いします。

〈低学年の保護者の皆様へ〉

スムーズに水泳学習に入れるようお風呂や毎日の生活の中で取り組んでみてください。

①顔をジャブジャブと洗う。 ②シャワーを浴びて髪を洗う。 ③シャワーで目をあけたまま10秒 ④シャワーで目をあけたまま10秒

※①～③は顔から鼻、鼻、耳、口などに水がかかる経験値を上げていくことを目的としています。

⑤顔を洗う。⑥顔を洗った後、目を閉じて鼻から息を吐いてアププアプ。

⑦顔を洗った後、目を閉じて鼻から息を吐いてアププアプ。

※水泳が楽しくなるにはご家庭の協力が必要です。どうぞよろしくお願いします。

〈水泳学習に関わる連絡〉

○水着、水泳帽子、タオル、ビーチサンダルを持たせてください。必ず記念をお願いします。

(帽子の色:1年=赤 2年=黄 3年=水色 4年=緑 5年=白 6年=青) ＊新しく買い替える際は、左記の色にそろえてください。毎年持上ります。

○ゴールを使用する場合は、必ず長さを確認し、自分でつけることができるように練習しておいてください。

○ラッシュガードの着用は可です。(大きめのものやフードがあるものはできるだけ避けてください。)

○水温と気温が低すぎると体育館で体育をしますので、体調管理を持たせてください。

○曇り、小雨でも水温と気温が一定値以上であれば実施します。

○衛生面や安全面を考慮し、傷テープやヘアピンは鼻につけず、手足の爪や頭髪をきちんときれいにしておいて学習に臨みましょう。

6月の体育目標

「あくりよく名人になろう」

6月の体育目標は「あくりよく名人になろう」です。体力は、ボールやラケットなど道具を使う(投、投げ)競技にとって重要な力になります。また、体力を鍛えることで指の関節が丈夫になり、上肢部の強化になり、突き指の防止や腕の振動等での怪我の防止につながると考えています。

過去2学期、下記のトレーニングを取り組んでいただきました。本年度、ぜひ御家庭で体力強化のトレーニングに取り組んでいただきますようお願いいたします。6月までに「すぐーる」で家庭での取組状況についてアンケートをとりますので、ご協力をお願いします。

トレーニング① グレープ運動(お風呂ですると効果的)

1. 腕を前にまっすぐ伸ばす

2. 力を入れながら、グーパーを行う

回数…1,2年生 60回

3,4年生 70回

5,6年生 80回

トレーニング② お家の人の肩もみ3分間(肩だけでなくどこでもOK!)

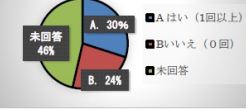
明治体育新聞

2024年度
6月10日 No.4
明治小学校体育専科
石川 徳太郎

体力向上の取組アンケートの結果について

6月の体育目標「あくりよく名人になろう」について、ご家庭でも取り組んでいただきました。アンケートにもたくさんご協力いただきありがとうございます。「すぐーる」アンケートにもたくさんご協力いただきありがとうございます。

体力向上の取組アンケートの結果について、ご家庭でも取り組んでいただきました。アンケートにもたくさんご協力いただきありがとうございます。



過去2学期に引き続き取り組んだ結果、アンケートの回答率は57.7%→66.6%と向上しました。Aと回答した割合は33.3%→31.1%と減少しており、ご家庭への参加・実施率が向上してまいりました。Q2では、体力向上の取組について、取り組んだ習慣や得意なところ、得意なやり取りなど、ご家庭でも取り組んでいただいております。親子のコミュニケーションが、お子様の成長に大きく影響を及ぼしていることが伺えました。親子のコミュニケーションが、お子様の成長に大きく影響を及ぼしていることが伺えました。

8・9月は体育発表会に向けた体づくりを!

2学期がスタートしました。これから体育発表会に向けての練習が始まります。練習を通して、運動する楽しさや仲間との絆を深めていきたいと思います。練習が本格的に始まるので、練習に集中して取り組んでほしいです。

学校では大谷グローブを着用しています。体力アップの取組の心に入らなうは、1日1日から練習する予定です。昨年度に引き続き、運動場の体育発表会となりますが、今年もご協力をお願いします。

ロイノートでワークシートを作成

授業改善

個別最適な学び「指導の個別化」



個別最適な学び「学習の個性化」

「よい動き」を見つけて伝え合う

協働的な学びの姿



運動量を確保するための場の設定



ペアでの見合い・教え合い



児童間での即時評価